

定例公安委員会の開催状況について

令和5年3月23日（木）に、第9回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 県警察における令和4年度定期会計監査（下半期）の実施結果について

県警察における令和4年度定期会計監査（下半期）の実施結果について報告があった。

委員のコメント

- 大きな問題がなくて良かった。異動期に伴って業務に遅延が生じたりしないようにしてほしい。
- ケアレスミスが大きな問題につながることもあるので、指導監督をしてほしい。

2 金融機関におけるATM引出限度額の引下げについて

特殊詐欺対策として、県内に本拠を構える金融機関から協力を得て実施する高齢者の1日当たりのATM引出限度額の引下げについて報告があった。

委員のコメント

- ATMにおける1日当たりの引出限度額が制限されたことによる被害抑止効果を期待する。
- 地方銀行でこのような対策が講じられたことにより、多額の被害を防ぐことにもつながると思われるが、利用者が困惑しないように良く周知してほしい。
- 金融機関によって限度額が違うが、問題が発生しないよう配慮してほしい。

3 こどもと自転車の交通事故防止対策について

こどもと自転車の交通事故防止対策について報告があった。

委員のコメント

- 自転車利用者へのヘルメット着用を意識付けるため、交通教室等を通じて、利用者自らがヘルメット着用の重要性を考える機会を設けてほしい。また、自転車の利用機会がなくても、ヘルメットの着用を体験してみることもヘルメット着用を意識付ける効果的な対策と思う。
- 全国的に自転車のヘルメット着用の努力義務化が報道等で周知されれば、自転車とヘルメットがワンセットで販売されるなどして、ヘルメットの普及率は上がっていくのではないか。歩道の自転車通行可の標識を大きくできないか検討してほしい。
- インバウンドによって来県する外国人が増えることにより、自転車や電動キックボードのレンタルサービスの需要が高まることも予想される。これらのレンタル事業者に対してヘルメット着用の指導を徹底する必要がある。あらゆる機会を通じて広報啓発を進めてほしい。

4 令和4年度中における雪害の発生状況について

令和4年度中における雪害の発生状況及び雪害対応訓練の実施状況について報告があった。

委員のコメント

- 高齢化が進んで屋根の雪下ろしができない人が屋根からの落雪に巻き込まれる事案が散見されるが、この種事案に対する対策が必要と思う。
- 大雪による家屋倒壊など人命救助が必要な災害が発生した際に備え、早期救助に通じる訓練を期待する。また、鶴岡市で発生した土砂崩れを見ても、降雪時よりもその後の天気が回復して気温上昇時が危険であるとの意識付けが必要と思う。
- 普段から訓練し、備えることは重要であり、今後も継続してほしい。

5 警備部警備第二課「警衛・警護室」の発足について

警備部警備第二課「警衛・警護室」の発足について報告があった。

委員のコメント

- 警衛警護のノウハウを身に付けたプロフェッショナルを養成し、要人警護の体制づくりに努めてほしい。また、統一地方選挙に伴い、要人の来県が予想されるが、そこが試金石となるのでしっかりと任務を全うしてほしい。
- 今後、統一地方選挙があり、その後G7広島サミットがあるので、警衛・警護室を中心として活動する機会が多くなる。警衛・警護室が中心となって、その力を発揮し、要人警護に万全を期してほしい。また、携わる全ての警察職員に対する教養を行うことにより、山形県警全体の警衛警護のレベルを上げてほしい。